

第21回 医療の質・安全学会学術集会



パネルディスカッション

転倒転落を解決する4つの新しいアプローチ —問題を捉えなおし、生成AIやICTを活用する—

① 患者の認知バイアスに着目したアプローチ



演者：上野正子氏
(神戸徳洲会病院)

「なぜ患者は転倒するのか」
患者自身の認知の偏りに着目し、
問題と対策を捉え直します。

② ケアの本質を見つめ直すアプローチ



演者：大河正美氏
(金沢医科大学病院)

その人の生活の質と安全を
両立させるために、
ケアの本質から転倒予防を
再構築します。

③ ICTを用いた生産性向上のアプローチ



演者：高瀬園子氏
(NTT東日本関東病院)

見守りと情報共有の効率化を
ICTで実現し、患者安全と
業務の生産性向上を目指します。

④ 生成AI活用による現場支援のアプローチ



演者：初雁卓郎氏
(パラマウントヘルスケア
総合研究所)

現場の暗黙知を活かした生成AIの
活用により、対策の質向上と
実装支援を目指します。

経験の継承と科学的探求 ~さらなる高みを目指して~